

バリ州における大崎システム プロジェクトが始動！

独立行政法人国際協力機構(以下 JICA)と、鹿児島県大崎町と(有)そおりサイクルセンターは、草の根技術協力事業 1)『インドネシア国バリ州における大崎システム技術移転プロジェクト』を2022年1月17日より開始しました。

バリ州は近年の急激な経済発展及び人口増加に伴い廃棄物が増大し、州都デンパサール市内の管理型埋立処分場の残余年数はわずか数年と逼迫し、街中にも廃棄物が溢れるなど観光産業を柱とするバリ州の社会問題となっています。

JICAが大崎町およびそおりサイクルセンターと協働し、大崎システム(分別～回収～処理)の技術移転されることを目指し、バリ州全体を指導する普及作業員(収集業者・堆肥化処理施設作業員)の育成に注力し、埋立廃棄物の早期の減量化を図る活動を行っていきます。大崎町は12年連続資源ごみリサイクル率日本一を達成しています。



草木の堆肥化をめざし、排出されたゴミに含まれるホッチキスを取り除く作業員



生ごみ・草木を混ぜて製造された堆肥を確認する大崎町職員と現地職員

【概要】

■事業名：草の根技術協力事業

『インドネシア国バリ州における大崎システム技術移転プロジェクト』

■対象地：インドネシア国 バリ州ギャニャール県

■事業実施団体：大崎町、有限会社そおりサイクルセンター

■相手国実施機関：バリ州環境局

■事業期間：2022年1月～2025年1月(3年)

■問い合わせ先

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州 市民参加協力課 森川

TEL 093-671-8312

e-mail : Morikawa.Daiki@jica.go.jp

1) 草の根技術協力事業とは、国際協力の意志のある日本のNGO/CSO、地方自治体、大学、民間企業等の団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験に基づいて提案する国際協力活動を、JICAが提案団体に業務委託してJICAと団体の協力関係のもとに実施する共同事業です。参考URL：<https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/index.html>